

第1回総合戦略推進委員会 事前提出された意見・質問

番号	資料名	事前に提出された意見・質問の概要
1	2030赤穂市総合戦略の策定について	<p><u>7ページ 社会増減（転入－転出）数</u> 社会減を最少に持っていきたいとの考えはよく分かる。 しかし、ここでも具体策が求められる。 そもそも、今後将来に向けて様々な施策を実施していくためには、単に現在の施策の5%～10%カットなどではなく、例えば「敬老会」事業の廃止など、従来行われていても対象者の本当の必要度合を見極めて、決断すべきは決断する必要があると考える。</p>
2	2030赤穂市総合戦略の策定について	<p><u>7ページ 観光入込客数／赤穂市に観光で訪れた者の総数。基準値をベースに毎年、対前年度比5%の増を目指す。</u> 国内人口が減少していく中であって、毎年度5%の増は、大変難しいと思われる。 インバウンドによる観光者も、円安が継続するかどうか、赤穂の観光者の受入態勢など、困難な課題が山積している。 単純に「観光に力を入れて、観光客の増加」をではなく、具体策が必要ではないか。</p>
3	参考資料②「赤穂市総合計画における「将来人口の長期的見通しと目標」について」	<p>従前の目標の42,000人 → 40,000人。 そもそも「赤穂市」1市での取組では、力不足。平成の合併がなかった「赤穂市」ではあるが、今後の状況を鑑みると、再度、1市1町、2市1町の合併も考えるべきではないか。 「弱い者が集まっても弱いまま」との考えもあるが、一考に値するのではないか。</p>